



2017.7.7(金)ー9.10(日)

# 映画と音楽の 素敵な出会い

鎌倉市川喜多映画記念館

# 映画と音楽の素敵な出会い

企画展観覧料 一般：200円(140円)／小・中学生：100円(70円) ※( )内は20名以上の団体料金

## 企画展概要

“My Favorite Things”(私のお気に入り)という曲が聴こえてきたら、あなたは「そうだ 京都、行こう」と思い立ちますか？それともジュリー・アンドリュースが子どもたちに囲まれている『サウンド・オブ・ミュージック』の一幕を思い浮かべますか？あるいは“ハリー・ライムのテーマ”を聴くと、『第三の男』のオーソン・ウェルズのしたり顔がみえてきますか？それともやっぱりビールが飲みたくなりますか？恵比寿駅のホームでもこの曲は流れるので、通勤通学の風景を連想する方もいらっしゃるかもしれません。

名作の映画音楽はこうに今や私たちの生活に広く浸透して、人によっては曲に馴染みがあっても元になってい



○『5つの銅貨』(1959年) ○『2001年宇宙の旅』(1968年) ○『水の中のナイフ』(1962年)

る映画をみたことがない場合もあります。気になる音楽をきっかけに映画をみるのも良いでしょう。また大好きな作品のメロディは、スクリーンを通して異世界へと出かけたあなたの旅の思い出“souvenir”に、いつまでもそばに残しておくことができる記念品と言えるかもしれません。

本企画展では、そんな映画音楽の素晴らしさに焦点をあて、クラシックからモダンジャズ、ポップスなど様々なジャンルにおける映画と音楽の素敵な共演・協奏を辿ります。

協力：小野里徹氏、根本隆一郎氏、原川順男氏、藤本秀則氏、松本経氏  
東京国立近代美術館フィルムセンター  
フライヤーデザイン/李 潤希



○『甘い生活』(1960年) ○『真夏の夜のジャズ』(1959年) ○『スティンダ』(1973年) ○『ピアニストを撃て』(1960年)

9月2日(土)16:00(約40分) ※庭園に入場する際は、当日の入館チケットをご提示ください。

ミニコンサート(鎌倉芸術館キャラバン隊)

「スチールパンで奏でる映画音楽」演奏：smick pan crew  
会場：旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)前の庭園

鎌倉・逗子在住のメンバーを中心に活動するスチールパンバンド“smick pan crew”(スマックパンクルー)の皆さんにお越しいただき、ミニコンサートを開催します。カリブ海最南端の島国トリニダード・トバゴ発祥の楽器スチールパン(スチールドラム)で奏でる映画音楽は、お馴染みのメロディとはまたひと味違って、心地よい癒しの音色をお楽しみいただけます。天気が良ければ庭園での野外演奏を予定しています。



※鎌倉芸術館キャラバン隊…現在改修工事中の鎌倉芸術館が、市内の施設でお届けするコンサートです。今回は鎌倉市川喜多映画記念館で開催いたします。

※雨天時は、記念館(映像資料室)内での開催となります。  
※混雑状況によっては入場を制限させていただく場合があります。

共催：鎌倉芸術館

9月9日(土)15:30(約40分) ※参加無料：企画展のチケットが必要です。

ギャラリートーク

「Walkabout～美しき映画ポスターをめぐる旅」

ゲスト：渡部幻さん(映画批評・編集者) & 小野里徹さん(ポスターコレクター)

『ブレッドランナー』、『暗殺の森』など貴重な映画ポスターを幾つも蒐集されているポスターコレクターの小野里徹さん、『60、70、80、90、ゼロ年代アメリカ映画100シリーズ』(芸術新聞社)の企画・編集・共編執筆者である渡部幻さんと一緒に、記念館の展示室を周遊してギャラリートークを開催します。映画にも音楽にも、その時代ごとのジャンルやカルチャーにさまざまな潮流があります。ひとつひとつの作品の関連資料をひも解きながら、そのデザインの当時のインパクトや映画・音楽そのものの衝撃、影響、時代性を振り返ります。



『チャイナタウン』(1974年) 小野里徹氏 所蔵

一般 1,000円

小・中学生 500円

※映画鑑賞券のご提示で企画展もご覧いただけます。  
※販売枚数に達した場合、当日券の販売はございません。

7月の上映作品 - 6月17日(土)

8月の上映作品 - 7月15日(土)

9月の上映作品 - 8月19日(土)

チケットのお取り扱い店/記念館窓口・たらば書房・島森書店(鎌倉店)・上州屋(大船駅前)

## 男と女

7月11日(火) 10:30/14:00  
12日(水)、13日(木) 14:00

©1966, Les Films 13

1966年/カラー/白黒/DCP / 104分  
監督: クロード・ルルーシュ  
原案: フランシス・レイ  
出演: アヌーク・エーメ、ジャン・ポリト、トランティニヤン、ビエール・バル

ダバダバダー♪の音楽で知られるレイ×ルルーシュの代表作。ドヴィルの美しい浜辺に甘美なメロディが重なる。出演のビエール・バルはその後サソノヴァに出会い、日本における「フレンチ・ボッサ」ブームの火付け役も担った。

## 死刑台のエレベーター

7月14日(金) 10:30/14:00  
15日(土)、16日(日) 14:00

©1958, Merveilles Editions de France

1958年/白黒/35mm / 92分  
監督: ルイ・マル  
音楽: マイルス・デイヴィス  
出演: ジャンヌ・モロー、モーリス・ロネ、ジャルジュ・ファウヴェル、リリアン・ファンチュラ

ノエル・カレフのサスペンス小説を映画化したルイ・マルのデビュー作。全篇に流れるモダンジャズは、トランペット奏者で作曲家のマイルス・デイヴィスが担当し、「ジャンゼリゼの夜」「夜警の見回り」など10曲が演奏される。

## 甘い生活

7月25日(火) 10:30/14:00  
26日(水)、27日(木) 14:00

©1989, Les Films de France

1960年/白黒/35mm / 173分  
監督: フェデリコ・フェリーニ  
音楽: ニーノ・ロータ  
出演: アンナ・マリア・マストロヤンニ、アニタ・エクバーク、アヌーク・エーメ

ニーノ・ロータの奏でるドルチェ・ヴィータのメロディ、マストロヤンニ&アニタ・エクバークとともに彷徨うトレビの泉や夜のローマの映像は、何とも言えない雰囲気と味わい。1960年のカンヌ映画祭パルム・ドール受賞作。

※途中休憩あり

## ラストエンペラー

7月28日(金) 10:30/14:00  
29日(土)、30日(日) 14:00

©Recorded Picture Company

1987年/カラー/DCP / 163分  
監督: ベナ尔多・ベルトルッチ  
音楽: 坂本龍一、デヴィッド・パーン、原龍雄  
出演: ジョン・ロン、ジャアン・チェン、ピーター・オンツル

わずか3歳で清朝最後の皇帝に即位し、後に満州国の皇帝となった溥儀の数奇な人生を壮大なスケールで描いた歴史大作。甘粕正彦役で出演し、音楽プロデューサーも務めた坂本龍一は日本人初となるアカデミー賞作曲賞を受賞した。

※画・音の良好でない場合があります。場合によって上映素材・作品の変更がおりますことをご了承ください。

## マイ・フェア・レディ

8月8日(火) 10:30/14:00  
9日(水)、10日(木) 14:00

©1964, Warner Bros. Pictures, Inc. All Rights Reserved.

1964年/カラー/DCP / 170分  
監督: ジョージ・キューバン  
原案: フレッド・アプティン  
出演: オードリー・ヘプバーン、レックス・ハリスン、スタンリー・ホロウェイ

原作はバーナード・ショウの戯曲「ピグマリオン」。難しい発音にちなんだ“The Rain in Spain”(スペインの雨)、うまく喋ることができたライザの歡喜を表現した“I Could Have Danced All Night”(踊り明かそう)など物語に沿ったナンバーが魅力。

※途中休憩あり

## アラビアのロレンス

8月11日(金・祝)、12日(土)、13日(日)  
毎日 13:00

©1962, renewed 1998, ©1998, Columbia Pictures Industries, Inc. All Rights Reserved.

1962年/カラー/DCP / 227分  
監督: デヴィッド・リーン  
音楽: モーリス・ジヤール  
出演: ピーター・オトゥール、オマー・シャルイフ、アレック・ボネス、アンソニー・クイン

D・リーンの息をのむ映像美とM・ジヤールの雄大な音楽で、実在のイギリス人冒険家ロレンスの波乱に満ちた半生を描く。スピルバーグは本作をみて映画監督になることを決意したという。20世紀の長編スペクタクル映画の金字塔。

※途中休憩あり

## 未完成交響楽

8月22日(火) 10:30/14:00  
23日(水)、24日(木) 14:00

©1961, EICMA-Film

## アンコール上映

1933年/白黒/Blu-ray / 88分  
監督: ヴィリ・フォルスト  
音楽: ヴィリ・フォルスト  
出演: ハイン・ヤーラー、マルタ・エグルト、ルイーゼ・ウルフヒ

シュペルトの交響曲「未完成」をテーマにした伝記的音楽映画。ウィーン少年合唱団やマルタ・エグルトの歌唱、「アヴェ・マリア」など楽曲の数々を楽しむ。質屋の娘エミーの視点からシュペルトの恋物語を見守るのも一興。

## 愛と哀しみのポレロ

8月25日(金) 10:00/14:00  
26日(土)、27日(日) 13:30

LES UNS ET LES AUTRES ©1981 Les Films 13 - All Rights Reserved.

## アンコール上映

1981年/カラー/DCP / 185分  
監督: クロード・ルルーシュ  
原案: ミカエル・クワン、フランク・ストイ  
出演: ロザリ・ド・カステル、ニコル・カザン、ジェームズ・カーン、シェリル・テイラー、チャップリン、ジャック・シュドン

ルドルフ・メレフ (バレエダンサー)、エディット・ピアフ (歌手)、ヘルベルト・フォン・カラヤン (指揮者)、グレン・ミラー (音楽家)、国籍の異なる実在の芸術家たちをモデルに、物語は彼らの流浪の人生が交錯する。

※途中休憩あり

**ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ**



©1999 REVERSE ANGLE FILM BY IAN

1999年/カラー/白黒/35mm/105分  
監督：ウィム・ヴェンダース  
音楽：ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ  
出演：ライ・クーダー、イブラヒム・フェレル、ルベーン・ゴンザレス、エリアデス・オチョア、オマール・ホルトウオンド、コンバヒ・セグンド

『パリ、テキサス』の映画音楽で知られるライ・クーダーがキューバを訪ね、往年のトップミュージシャンたちとアルバム「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」を製作、その音楽の素晴らしさは世界を驚かせた。ヴェンダース監督はライ・クーダーのキューバ再訪に伴って本作を撮影。音楽とともに生きてきたミュージシャンたちと、現代の時間から隔絶された魅力の街ハバナを世界の人々に知らしめた。

9月1日(金)10:30/14:00  
2日(土)、3日(日)14:00

○2日(土)16:00『ミニコンサート』あり

**カルテット！人生のオペラハウス**



©Hellas Pictures (Quartet) Limited and the British Broadcasting Corporation 2012

2012年/カラー/35mm/98分  
監督：ダスティン・ホフマン  
音楽：タリオ・マリアネッリ  
出演：マギー・スミス、トム・コートネイ、ゼビー・コノリー、ポーリン・コリンズ、マイケル・ガンボン

D・ホフマンが75歳で初監督に挑んだ本作は、『八月の鯨』のような老年期の静謐な暮らしに光を当てたもの。ヴェルディが創設した「音楽家たちの憩いの家」をモデルに、引退した音楽家の暮らす館で四重奏の仲間たちの繰り広げる友愛劇とコンサートに向けて高まる慕情を描く。音楽と生に対する情念の激しさがあり、もう一方に気品や優いままざしがあふれる。対照的な四人の性格が互いを引き立てる。

9月5日(火)10:30/14:00  
6日(水)、7日(木)14:00

**幸せをつかむ歌**



©2015 Columbia Pictures International Ltd. USA Film Corporation, All Rights Reserved.

2015年/カラー/DCP/101分  
監督：ジョナサン・デミ  
出演：メリル・ストリープ、ケヴィン・クライン、メイミー・ガマー、リック・スプリングフィールド、リック・ローザス

M・ストリープが実娘と親子役で共演したホームドラマ。夢を追って家族を捨てたロック歌手をオスカーク女優が熱演。娘のピンチをきっかけに家族と再会し、過去と向き合い葛藤しながらも自らの生き様をみせることで子どもたちとの絆を取り戻そうとする。監督のジョナサン・デミは『羊たちの沈黙』だけでなく、トーキング・ヘッズやニール・ヤングの音楽ドキュメンタリーの名編を多数手がけている。

9月8日(金)10:30/14:00  
9日(土)13:30、10日(日)14:00

○9日(土)15:30『キャラリートーク』あり

夏のシネマセレクション

**小林正樹監督特集～戦争と人間の尊厳を見つめて～**

『人間の条件』『切腹』など、代表作の数々で国際的な評価を得ている映画監督・小林正樹（1916-1996）。昨年、生誕100年を迎え、ますます注目を集める監督作の中から戦争を題材にした3作品を上映いたします。鎌倉円覚寺塔頭松嶺院に眠る、ゆかりの映画人でもある小林正樹監督の映画をぜひご覧ください。

映画鑑賞料金：一般1,000円 小・中学生500円  
チケット発売日：7月15日(土)  
★19日(土)のみ(特別上映)一般1,500円 小・中学生750円

**壁あつき部屋**

1956年/白黒/35mm/110分



脚本：安部公房  
音楽：木下忠司  
出演：浜田寅彦、小林トシ子、三島耕、岸恵子、小沢栄、信欣三、伊藤雄之助

BC級戦犯の手記を原作に、巣鴨拘留所に服役する6人の男たちの葛藤を描いた社会派ドラマ。社会に対して発言する映画作家になりたいという小林監督の原点となった作品だが、その内容から製作当時、公開が見送られた作品でもある。

8月16日(水)10:30～

8月18日(金)14:00～

8月20日(日)10:30～

**日本の青春**

1968年/白黒/35mm/129分



脚本：斎藤寅次郎  
音楽：武満徹  
出演：藤田まこと、新珠三千代、黒沢年男、酒井和歌子、佐藤慶、田中邦衛、奈良岡朋子

遠藤周作の小説「どっこいしょ」の映画化。戦時中、上官の制裁で片耳をつぶされた戦中派の男を藤田まことが情感豊かに演じ、戦後世代の息子との葛藤や社会の変化をユーモア交えて描いたヒューマンドラマ。小林監督自身も戦中派であった。

8月16日(水)14:00～

8月18日(金)10:30～

8月20日(日)14:00～

**東京裁判**

1983年/白黒/35mm/277分 ※途中休憩あり



脚本：小林正樹、小笠原清  
ナレーター：佐藤慶  
音楽：武満徹

米国防総省が所蔵していた膨大なフィルムをもとに「極東国際軍事裁判」の全貌を描いた長編記録映画。小林監督にとっても戦争映画の集大成として5年もの歳月をかけて完成させた映画史上に残る傑作。A級戦犯を裁く場が、戦争とは人間とは何かを問いかける。

8月15日(火)12:00～

8月17日(木)12:00～

8月19日(土)12:00～

(特別上映)  
\*上映前に30分ほどトークを予定  
ゲスト：小笠原清さん  
『東京裁判』脚本・監督兼任

【次回予定】特別展  
《映画衣装デザイナー 黒澤和子の仕事》  
2017年9月15日(金)～  
2017年12月17日(日)

- チケット取り扱いお問い合わせ先
- ◆たらば書房 0467-22-2492
  - ◆島森書店 鎌倉店 0467-22-0266
  - ◆上州屋 (大船駅前) 0467-43-1000

Kamakura City Kawakita Film Museum  
**鎌倉市川喜多映画記念館**

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12  
**TEL:0467-23-2500**  
HP: <http://www.kamakura-kawakita.org>

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
休館日 毎週月曜日 (祝日の場合は開館) 7月18日(火)

鎌倉市川喜多映画記念館

